

鎌倉時代

001 1185年に源頼朝が源義経追討のために任免権を受けたものは何か

守護・地頭

002 1192年に源頼朝が後鳥羽天皇によって任命された役職は何か

征夷大將軍

003 鎌倉時代に将軍に仕えた武士のことを何というか

御家人

004 鎌倉時代の封建制度で、将軍が武士に所領を与え保障することを何というか

御恩

005 鎌倉時代の封建制度で、武士が将軍のために軍役や労働につくことを何というか

奉公

006 荘官や地頭が荘園から1年ごとに取り立てた税は何か

年貢

007 山と海に囲まれた鎌倉への入り口となる細い道は何か

切通

008 関東近郊の各地と鎌倉を結び、有事に御家人が鎌倉へ駆けつけた道を何というか

鎌倉街道

009 鎌倉時代の武士の邸宅の建築様式は何か

武家造

010 馬上から弓を射る武士の修練で、現在にも伝えられるものは何か

流鏑馬（やぶさめ）

011 鎌倉幕府で将軍を補佐するものとして設置され、政治の実権を握った役職は何か

執権

012 鎌倉幕府で軍事を司った組織は何か

侍所

013 鎌倉幕府で財政を司った組織は何か

政所（まんどころ）

014 鎌倉幕府で司法・裁判を司った組織は何か

問注所

015 鎌倉時代に創建された東大寺南大門内に置かれた仏像は何か

金剛力士像

016 平家物語のような武士の合戦を描いた文学を何というか

軍記物

017 鎌倉幕府に保護された仏教の宗派は何か

臨済宗

018 凡夫衆生すべてが救済されるとした親鸞の教えを何というか

悪人正機

019 栄西が日本に伝えたと言われるものは何か

茶

020 承久の乱ののち、京都に設置された役職は何か

六波羅探題

021 北条泰時が設置した幕府の重要事項に関する会議は何か

評定衆

022 北条実時が自らの別荘内に建てた図書館は何か

金沢文庫

023 北条時宗がモンゴルの襲来に備え九州に設置した兵は何か

異国警固番役

024 文永の役ののち、再度の元の侵攻に備え九州に築かれた防衛設備は何か

石塁

025 弘安の役で元軍が退却する原因となった台風は、後に何とよばれたか

神風

026 鎌倉時代に農業用の肥料として用いられはじめたものは何か

草木の灰

027 鎌倉時代に普及した農業技術は何か

牛馬耕、鉄製農具

028 鎌倉時代に西日本に普及した農業栽培法は何か

米麦二毛作

029 鎌倉時代の定期市は一般的に月に何回開かれたか

3回（三斎市）

030 鎌倉時代につくられた商品作物のうち、灯火用の油を取るのに用いられたのは何か

荳胡麻（えごま）

031 鎌倉時代につくられた商品作物のうち、紙の原料として用いられたのは何か

楮（こうぞ）

鎌倉時代

032 鎌倉時代に開かれていた市で主に使われていた貨幣は何か

宋銭

033 鎌倉時代に各地で発達した、海上輸送と卸売りを担う商人は何か

問丸 (問)

034 鎌倉時代に各地で発達した、商工業者の同業者組合は何か

座

035 鎌倉時代に各地で発達した、商工業者の同業者組合は何か

土倉・酒屋

036 幕府が商人に対して出した、借金の帳消しを命じる法令は何か

徳政令

037 「南無阿弥陀仏」と唱えることで極楽に行けるとした法然の開いた宗派は何か

浄土宗

038 「南無阿弥陀仏」を信じることで極楽に行けるとした親鸞の教えを何宗というか

浄土真宗

039 踊り念仏で教えを広めた一遍を開祖とする宗派は何か

時宗

040 日蓮が開いた宗派である日蓮宗の別名は何か

法華宗

041 座禅によってのみ悟りを得られるとする、道元の開いた宗派は何か

曹洞宗

042 座禅と禅問答によって悟りを得られるとする、栄西の開いた宗派は何か

臨済宗

043 平治の乱ののちに源頼朝が流され、挙兵した場所はどこか

伊豆

044 平家一門滅亡後、源頼朝と不和になった源義経が逃れたのはどこか

平泉

045 平安末期の戦乱で焼け落ちたが、鎌倉期に再建された寺院は何か

東大寺

046 1221年の承久の乱ののち、敗れた後鳥羽上皇が流されたのはどこか

隠岐

047 源頼義・源義家ゆかりであり、源頼朝が社殿を整備し武家の崇敬を受けた鎌倉の神社はどこか

鶴岡八幡宮

□048 フビライ＝ハンが中国を征服し建てた王朝の名は何か

元

□049 中国南部にあり、フビライ＝ハンの元王朝により征服された王朝は何か

南宋

□050 10世紀に朝鮮半島に成立し、13世紀にはモンゴルに服従し日本に侵攻してきた国は何か

高麗

□051 文永の役で、元・高麗軍に占領され住民が虐殺されたり、捕虜とされたりした島はどこか

対馬・壱岐

□052 北条時宗が元寇の死者を追悼するために鎌倉に建てた寺院は何か

円覚寺

□053 道元が曹洞宗の大本山として福井県に建てた寺院は何か

永平寺

□054 1180年に平家追討の令旨を発し、治承・寿永の乱のきっかけをつくった後白河法皇の子は誰か

以仁王 (もちひとおう)

□055 1180年に平家一門に対し挙兵したが、宇治平等院の戦いで敗死した源氏一門は誰か

源頼政

□056 治承・寿永の乱のなか、平家一門を都から追放したのは誰か

源義仲

□057 源頼朝の弟で、幼少時は奥州藤原氏の保護で育ち、源義仲討伐や平家討伐の戦いなどで活躍したのは誰か

源義経

□058 源頼朝の弟で、もう一人の弟義経とともに、源義仲討伐や平家討伐の戦いなどで活躍したのは誰か

源範頼

□059 平清盛亡き後の平家一門の指導者として治承・寿永の乱を最後まで戦ったのは誰か

平宗盛

□060 1192年に征夷大將軍となり、名実ともに鎌倉幕府を開いたのは誰か

源頼朝

□061 源頼朝の命令を受け、源義経を討ったのは誰か

藤原泰衡

□062 鎌倉幕府の2代目将軍となったのは誰か

源頼家

□063 源頼家の死後、鎌倉幕府の3代目将軍となったのは誰か

源実朝

064 鎌倉幕府の4代目将軍となったのは誰か

九条頼経

065 源実朝を暗殺した、頼家の遺児は誰か

公暁

066 鎌倉幕府で執権職に代々就いたのは何氏か

北条氏

067 源頼朝の妻の父であり、鎌倉幕府の初代執権として頼朝を助けたのは誰か

北条時政

068 平家物語を広めたのはどのような人か

琵琶法師

069 三大随筆の1つである「方丈記」の作者は誰か

鴨長明

070 浄土宗を開いたのは誰か

法然

071 浄土真宗（一向宗）を開いたのは誰か

親鸞

072 鎌倉時代に踊り念仏で仏の教えを説き、時宗を開いたのは誰か

一遍

073 鎌倉時代初期の歌人で、新古今和歌集や小倉百人一首の選者として知られるのは誰か

藤原定家

074 1221年の承久の乱の際に、幕府の執権を務めていたのは誰か

北条義時

075 1221年の承久の乱で敗者となり、隠岐へ島流しとなったのは誰か

後鳥羽上皇

076 1221年の承久の乱の際に、混乱する御家人に幕府への恩を説いたのは誰か

北条政子

077 御成敗式目（貞永式目）を制定したときの執権は誰か

北条泰時

078 5代目執権として有力豪族の三浦氏を滅ぼし、北条氏の専制体制を築いたのは誰か

北条時頼

079 13世紀初めにモンゴル民族を統一し、モンゴル帝国を築いたのは誰か

チンギス=ハン

-
- 080 モンゴル帝国5代目皇帝として中国を征服し、元王朝を建てたのは誰か
フビライ=ハン
-
- 081 「東方見聞録」を著し、モンゴル人に「黄金の国ジパング」を紹介したイタリア人は誰か
マルコ=ポーロ
-
- 082 釈迦の教えである妙法蓮華経のみを正しい経典とし、法華宗を開いたのは誰か
日蓮
-
- 083 曹洞宗を開いたのは誰か
道元
-
- 084 臨済宗を開いたのは誰か
栄西
-
- 085 元の皇帝として、日本に降伏と朝貢を求める文書を送ったのは誰か
フビライ=ハン
-
- 086 元寇のときに執権を務めていたのは誰か
北条時宗
-
- 087 蒙古襲来絵詞に自らの戦いを描いた御家人は誰か
竹崎季長
-
- 088 東大寺南大門金剛力士像の作者として知られる2人は誰か
運慶・快慶
-
- 089 三大随筆の1つである「徒然草」の作者は誰か
吉田兼好（兼好法師）
-
- 090 以仁王の令旨をきっかけに始まり、平家滅亡または奥州藤原氏滅亡まで続く戦乱を何というか
治承・寿永の乱
-
- 091 伊豆で挙兵した源頼朝が、平家方の大庭景親に大敗した戦いは何か
石橋山の戦い
-
- 092 鎌倉を拠点とした源頼朝が、東征した平維盛の軍勢に大勝した戦いは何か
富士川の戦い
-
- 093 源義仲が北陸道で平家の大軍を破り、都から平家が逃亡することになった戦いは何か
倶利伽羅峠の戦い
-
- 094 西国から反攻してきた平家軍を破った、源義経による「鶴越の逆落とし」で知られる戦いは何か
一ノ谷の戦い
-
- 095 四国における平家の拠点を壊滅させた戦いは何か
屋島の戦い
-

-
- 096 1185年、平家一門が源義経に敗れ安徳天皇らが自害した戦いは何か
壇ノ浦の戦い
-
- 097 1221年、後鳥羽上皇が執権北条義時の追討を命じ起きた戦いを何というか
承久の乱
-
- 098 1274年の元・高麗軍による1回目の日本侵攻を何というか
文永の役
-
- 099 1281年の軍による2回目の日本侵攻を何というか
弘安の役
-
- 100 院に仕える武士から流浪の歌人となった西行が遺した歌集は何か
山家集
-
- 101 歌人としても名高い3代将軍源実朝が遺した歌集は何か
金槐和歌集
-
- 102 後鳥羽上皇の命により、藤原定家らによって編纂された勅撰和歌集は何か
新古今和歌集
-
- 103 鎌倉時代に書かれた、鴨長明による三大随筆の1つは何か
方丈記
-
- 104 源平の戦いを描いた軍記物は何か
平家物語
-
- 105 イタリア人旅行家マルコ・ポーロが日本や元寇のことを書き記した書物は何か
東方見聞録
-
- 106 日蓮が外国の襲来を予言し幕府に提出した書物は何か
立正安国論
-
- 107 文禄の役に出兵した御家人竹崎季長による絵巻物は何か
蒙古襲来絵詞
-
- 108 鎌倉時代に書かれた、吉田兼好（兼好法師）による三大随筆の1つは何か
徒然草
-
- 109 1232年に武家社会の慣習をまとめ裁判の基準として作られたものは何か
御成敗式目
-
- 110 1297年に幕府が困窮する御家人を救うために出した法令は何か
永仁の徳政令
-
- 111 封建制度について説明せよ
土地を仲立ちとした主従関係
-

112 鎌倉時代の武家の所領の相続について説明せよ

兄弟に分割して相続し、女性にも相続権があった

113 元寇の結果、御家人が幕府に不満を持ったのはなぜか

恩賞としての新たな土地が与えられなかったから

114 鎌倉文化の特色を説明せよ

武士や僧による素朴で写実的な文化

115 以仁王が平家追討の令旨を発し、源頼朝や源義仲が挙兵したのは何年か

1180年

116 木曾義仲が倶利伽羅峠で勝利し、京から平家を追放したのは何年か

1183年

117 壇ノ浦の戦いに敗れ、平家一門が滅亡したのは何年か

1185年

118 源頼朝が守護地頭の任免権を受け（文治の勅許）、鎌倉政権が支配権を確立したのは何年か

1185年

119 源義経と奥州藤原氏が滅亡し、治承・寿永の乱が終わったのは何年か

1189年

120 源頼朝が征夷大將軍に任命され、名実ともに鎌倉幕府が成立したのは何年か

1192年

121 承久の乱が起こったのは何年か

1221年

122 武家社会の慣習をまとめた裁判の基準として、御成敗式目（貞永式目）が作られたのは何年か

1232年

123 文永の役で元・高麗軍が日本に侵攻してきたのは何年か

1274年

124 弘安の役で元軍が日本に侵攻してきたのは何年か

1281年

125 永仁の徳政令が出されたのは何年か

1297年

126 源頼朝が守護・地頭の任免権を得て征夷大將軍となっからを何時代というか

鎌倉時代

127 鎌倉時代に栄えた文化を何というか

鎌倉文化

128 平家が安徳天皇を連れて京を脱出した後、後白河法皇が擁立した天皇は誰か

後鳥羽天皇

129 源頼朝が任免権を得た守護はどこに配置されたか

守護

130 源頼朝が任免権を得た地頭はどこに配置されたか

地頭

131 権力者に従う代償として、土地の支配権が保障される政治制度を何というか

封建制度

132 御家人が与えられた所領のために命がけて働くことを指す言葉は何か

一所懸命

133 史上唯一朝廷を武力で倒した人物は誰か

北条義時

134 鎌倉幕府の支配権が、西日本まで広がるきっかけとなった出来事は何か

承久の乱

135 史上初めて作られた武家法は何か

御成敗式目（貞永式目）

136 文永の役・弘安の役の2回の戦いをまとめて何というか

元寇

137 一ノ谷がある都道府県はどこか

兵庫県

138 屋島がある都道府県はどこか

香川県

139 壇ノ浦がある都道府県はどこか

山口県

140 鎌倉がある都道府県はどこか

神奈川県

141 隠岐がある都道府県はどこか

島根県

142 六波羅探題がある都道府県はどこか

京都府

143 「ゆく川の流は絶えずして、しかも本の水にあらず」で始まる三大随筆の1つは何か

方丈記

□ 144 「祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり」で始まる軍記物は何か

平家物語

□ 145 「つれづれなるままに日暮らし硯に向かひて」で始まる三大随筆の1つは何か

徒然草

□ 146 図の収められた絵巻物の名と、作者を答えよ



蒙古襲来絵詞、竹崎季長

□ 147 図の建物は何か



東大寺南大門

□ 148 図の仏像の名前と、作者を答えよ



東大寺南大門金剛力士像、運慶・快慶

□ 149 図の寺院は何か



円覚寺舍利殿

□ 150 図の仏像がある都市はどこか



鎌倉

□ 151 次の出来事を時代が古い順に並べよ
【ア：富士川の戦い イ：一ノ谷の戦い ウ：壇ノ浦の戦い エ：屋島の戦い】

ア→イ→エ→ウ

□ 152 次の出来事を時代が古い順に並べよ
【ア：頼朝の征夷大將軍就任 イ：頼朝の守護地頭任免権獲得 ウ：平家一門の滅亡 エ：義経が衣川で討たれる】

ウ→イ→エ→ア

□ 153 次の出来事を時代が古い順に並べよ
【ア：御成敗式目制定 イ：承久の乱 ウ：六波羅探題設置 エ：源実朝暗殺】

エ→イ→ウ→ア

□ 154 次の出来事を時代が古い順に並べよ
【ア：文永の役 イ：永仁の徳政令 ウ：御成敗式目制定 エ：弘安の役】

ウ→ア→エ→イ

□ 155 次の天皇を時代が古い順に並べよ
【ア：後白河天皇 イ：後鳥羽天皇 ウ：白河天皇 エ：安徳天皇】

ウ→ア→エ→イ

鎌倉時代

-
- 156 次の将軍を就任順に並べよ
【ア：源頼家 イ：源頼朝 ウ：九条頼経 エ：源実朝】

イ→ア→エ→ウ

-
- 157 次の執権を就任順に並べよ
【ア：北条時政 イ：北条泰時 ウ：北条義時 エ：北条時宗】

ア→ウ→イ→エ

-
- 158 次の農業技術のうち、鎌倉時代に普及したものを選び
【ア：千歯こき イ：備中ぐわ ウ：唐箕 エ：牛馬耕】

エ（牛馬耕）

-
- 159 次の農業技術のうち、鎌倉時代に普及したものを選び
【ア：干鰯 イ：草木灰 ウ：金肥 エ：油かす】

イ（草木灰）

鎌倉時代解答

001	守護・地頭	1185年に源頼朝が守護・地頭の任免権を受けたことにより、実質的な鎌倉政権が誕生したといえる
002	征夷大將軍	1192年に源頼朝は征夷大將軍に任ぜられ、名実ともに鎌倉幕府の成立となった
003	御家人	將軍に所領を認められ、將軍に仕えた武士のことを御家人という
004	御恩	鎌倉時代の封建制度は、將軍による土地の保障（御恩）に対して御家人が働く（奉公）で成り立っていた
005	奉公	鎌倉時代の封建制度は、御家人の働き（奉公）に対し將軍が新たな土地を加増することで成り立っていた
006	年貢	鎌倉時代には租に代わる税として、年貢を荘官や地頭が取り立てるようになった
007	切通	山と海に囲まれた鎌倉は、7つの切通でしか出入りできず、防衛に適した地形だった
008	鎌倉街道	各地から鎌倉へは鎌倉街道が整備され、切通を通じて鎌倉に出入りした
009	武家造	鎌倉時代の武士の邸宅は平安期の寝殿造から武家造へと移行した
010	流鏑馬（やぶさめ）	鎌倉時代の武士の修練の1つであった流鏑馬（やぶさめ）は、馬上から弓を射る技術
011	執権	鎌倉幕府では將軍を補佐する執権という役職が置かれ、北条氏が代々執権に就いた
012	侍所	鎌倉幕府の軍事・警察組織は侍所が管轄し、別当（長官）の和田義盛・梶原景時が北条氏に滅された後は執権が務めた
013	政所（まんどころ）	鎌倉幕府の行政・財政は政所が管轄し、初代の別当（長官）は大江広元が務め、後に執権がその職を兼ねた
014	問注所	「問注」とは民事裁判のことで、犯罪者の取り扱いは侍所が行った
015	金剛力士像	平安時代に倒壊した東大寺南大門が鎌倉時代に再建され、運慶・快慶による金剛力士像が置かれた

016	軍記物	源平の戦いを描いた軍記物の平家物語は作者不詳で、琵琶法師によって広められた
017	臨済宗	栄西の開いた臨済宗は座禅と禅問答によって悟りを得られるとし、幕府に保護された
018	悪人正機	親鸞は阿弥陀仏は悪人すら救うという悪人正機説を唱えた
019	茶	臨済宗の開祖である栄西は「喫茶養生記」を著し、日本に茶（喫茶の習慣、茶道）を伝えたとされる
020	六波羅探題	承久の乱の後、朝廷の監視と西国御家人の統率のため六波羅探題が設置され、鎌倉幕府の支配権が全国に及んだ
021	評定衆	執権を長とする評定衆による会議が、鎌倉幕府の最高意思決定機関となった
022	金沢文庫	北条実時（義時の孫）は自身の蔵書を金沢文庫として公開した
023	異国警固番役	北条時宗は元寇以前から異国警固番役を設置し、戦いに備えていた
024	石塁	文永の役ののち、博多湾に20kmにおよぶ石塁を築き、再度の侵攻に備えた
025	神風	石塁に阻まれ博多湾から上陸できなかった元軍を襲った台風を、のちに日本では神風と呼び神に守られていると考えた
026	草木の灰	鎌倉時代には草木の灰が肥料として用いられるようになり、農業生産力が向上した
027	牛馬耕、鉄製農具	鎌倉時代には牛馬耕や鉄製農具が普及し、農業生産力が向上した
028	米麦二毛作	鎌倉時代には西日本で、春から秋にかけて米をつくり、秋から翌春までの裏作で麦をつくる米麦二毛作が普及した
029	3回（三斎市）	鎌倉時代には月三回開かれる三斎市が一般的であった
030	荏胡麻（えごま）	鎌倉時代には灯火用の油の原料として荏胡麻が用いられ、商品作物として取引された
031	楮（こうぞ）	鎌倉時代には紙の原料として楮が用いられ、商品作物として取引された

032	宋銭	鎌倉時代には宋から輸入された銅銭である宋銭が利用された
033	問丸（問）	鎌倉時代には年貢米の輸送や保管、販売を行う問丸（問）が生まれた
034	座	鎌倉時代には座という商工業者の組合が結成され、独占的な商売を行った
035	土倉・酒屋	鎌倉時代には土倉や酒屋が金融業を営み、武士にお金を貸した
036	徳政令	借金の帳消しを命じる法令を徳政令という
037	浄土宗	法然は南無阿弥陀仏と念仏することで極楽に行けるとする浄土宗を開いた
038	浄土真宗	親鸞は南無阿弥陀仏を信じることで極楽に行けるとする浄土真宗（一向宗）を開いた
039	時宗	一遍は踊り念仏で仏の教えを広め、時宗の開祖とされた
040	法華宗	日蓮は釈迦の教えである妙法蓮華経のみを正しい経典とし、他宗派を攻撃して法華宗を開いた
041	曹洞宗	道元の開いた曹洞宗は座禅によってのみ悟りを得られるとし、下級武士の間で広まった
042	臨済宗	栄西の開いた臨済宗は座禅と禅問答によって悟りを得られるとし、幕府に保護された
043	伊豆	源頼朝は平治の乱の後伊豆に流されていたが、以仁王の令旨を受けて挙兵した
044	平泉	源頼朝と不和になった源義経は、奥州藤原氏の本拠地平泉へ逃れ藤原秀衡の保護を受けた
045	東大寺	東大寺は平重衡による南都焼き討ちで焼失したが、鎌倉時代に再建され新たに南大門に金剛力士像が置かれた
046	隠岐	後鳥羽上皇は承久の乱に敗れ隠岐に流され、朝廷側の土地にも幕府の支配権が及んだ
047	鶴岡八幡宮	鶴岡八幡宮は源氏ゆかりの神社であり、3代将軍実朝が公暁に暗殺された場所でもある

048	元	チンギス＝ハンの孫フビライは中国の金・南宋を征服し、1271年に元王朝を建てた
049	南宋	中国南部を支配していた南宋（宋）王朝は1276年に元に滅ぼされた
050	高麗	新羅滅亡後に朝鮮を統一した高麗は、モンゴルに服従し、元寇に従って日本に侵攻した
051	対馬・壱岐	元・高麗軍は対馬・壱岐を占領し肥前国（長崎県）から博多まで迫ったが、集結した西国武士との戦いで撤退した
052	円覚寺	北条時宗が中国から無学祖元を招いて建立した円覚寺は臨済宗の大本山で、舍利殿は国宝に指定されている
053	永平寺	福井県の永平寺は道元の創建で、神奈川県の大蔵持寺とならび曹洞宗の大本山である
054	以仁王（もちひとおう）	1180年に以仁王の令旨が発せられたことで、源頼朝や木曾義仲が挙兵し、治承・寿永の乱が起こった
055	源頼政	源頼政は以仁王とともに平家に対し兵を挙げるが、準備が整わないうちに宇治平等院の戦いで敗死してしまう
056	源義仲	源義仲（木曾義仲）は源頼朝のいところで、倶利伽羅峠の戦いで圧勝し平家を都から追放するが、京の治安維持に失敗しのちに源義経らに討たれた
057	源義経	源義経は頼朝の弟で、もう1人の兄範頼とともに義仲討伐や平家討伐で活躍したが、頼朝と不和になり平泉で討たれた
058	源範頼	源範頼は頼朝の弟で、弟の義経とともに義仲討伐や平家討伐で活躍した
059	平宗盛	平清盛死後は三男の平宗盛、四男の平知盛が平家一門の指導者となった
060	源頼朝	頼朝は平安時代以来すたれていた征夷大將軍の役職を受け、以降武家のリーダーは征夷大將軍となった
061	藤原泰衡	源義経は頼朝と不和になり平泉の藤原秀衡を頼るが、秀衡の死後、頼朝の命を受けた藤原泰衡によって討たれる
062	源頼家	頼朝の死後に將軍職を継いだ源頼家は御家人の権力争いの中、母方の親戚である北条氏に暗殺された
063	源実朝	頼家の死後に將軍職を継いだ源実朝も暗殺され、源氏の將軍は3代で終わった

064	九条頼経	源頼朝直系の将軍が絶えた後、京都から頼朝の遠縁にあたる藤原頼経を摂家将軍として迎えた
065	公暁	頼家の遺児公暁は源実朝を父の敵として、鶴岡八幡宮で暗殺した
066	北条氏	鎌倉幕府では将軍を補佐する執権という役職が置かれ、北条氏が代々執権に就いた
067	北条時政	北条政子の父時政は源頼朝の挙兵から手助けをし、初代執権となった
068	琵琶法師	源平の戦いを描いた軍記物の平家物語は作者不詳で、琵琶法師によって広められた
069	鴨長明	鴨長明の方丈記は枕草子、徒然草と並んで三大随筆の1つに数えられる
070	法然	法然は南無阿弥陀仏と念仏することで極楽にいけるとする浄土宗を開いた
071	親鸞	親鸞は南無阿弥陀仏を信じることで極楽にいけるとする浄土真宗（一向宗）を開いた
072	一遍	一遍は踊り念仏で仏の教えを広め、時宗の開祖とされた
073	藤原定家	藤原定家は新古今和歌集や小倉百人一首を編纂した
074	北条義時	承久の乱のとき鎌倉幕府の執権は2代目の北条義時（時政の子）であった
075	後鳥羽上皇	後鳥羽上皇は承久の乱に破れ隠岐に流され、朝廷側の土地にも幕府の支配権が及んだ
076	北条政子	頼朝の妻であった「尼将軍」北条政子は承久の乱の際に混乱する御家人たちに頼朝の恩を説く演説をした
077	北条泰時	1232年に御成敗式目を制定したのは3代目執権北条泰時（義時の子）
078	北条時頼	北条時頼は泰時の孫で、北条氏による専制体制を構築し、子は8代執権時宗となる
079	チンギス=ハン	13世紀初め、チンギス=ハンによりモンゴル民族が統一され、モンゴル帝国が成立した

080	フビライ=ハン	チンギス=ハンの孫フビライは中国の金・南宋を征服し元王朝を建てた
081	マルコ=ポーロ	イタリア人旅行家マルコ=ポーロはフビライに仕え、「東方見聞録」で日本のことを黄金の国ジパングと紹介した
082	日蓮	日蓮は釈迦の教えである妙法蓮華経のみを正しい経典とし、他宗派を攻撃して法華宗を開いた
083	道元	道元の開いた曹洞宗は座禅によってのみ悟りを得られるとした
084	栄西	栄西の開いた臨済宗は座禅と禅問答によって悟りを得られるとし、幕府に保護された
085	フビライ=ハン	元の皇帝フビライは日本に朝貢を求める使者を送ったが無視されたため、日本討伐の兵を送った
086	北条時宗	元の皇帝フビライは日本に朝貢を求める使者を送ったが、執権北条時宗はこれを無視した
087	竹崎季長	竹崎季長の「蒙古襲来絵詞」は元寇の戦いの様子を描いている
088	運慶・快慶	東大寺南大門には運慶・快慶による金剛力士像が置かれている
089	吉田兼好（兼好法師）	吉田兼好の徒然草は枕草子、方丈記と並んで三大随筆の1つに数えられる
090	治承・寿永の乱	1180年に以仁王の令旨が発せられたことで、源頼朝や木曾義仲が挙兵し、治承・寿永の乱が起こった
091	石橋山の戦い	1180年、源頼朝は伊豆で挙兵後、石橋山（神奈川県）の戦いで平家に大敗したが、安房に逃れ再起し鎌倉に入る
092	富士川の戦い	1180年、源頼朝は富士川（静岡県）の戦いで平家の軍勢に勝利し、以降は鎌倉にとどまり関東に地盤を築く
093	倶利伽羅峠の戦い	1183年、倶利伽羅峠（富山・石川県境）で圧勝した源義仲は京に入り、「朝日将軍」と呼ばれるようになる
094	一ノ谷の戦い	1184年、西国で兵を集め福原まで進出した平家軍を源義経らが一ノ谷（兵庫県）で撃退し、平家は屋島に撤退した
095	屋島の戦い	瀬戸内海の水軍は平家軍の方が優勢であったが、屋島（香川県）を急襲した義経に敗北し、九州は範頼に押さえられ封じ込められた

096	壇ノ浦の戦い	1185年、壇ノ浦の戦いで源義経に敗れた平家一門は、安徳天皇とともに自害し滅亡する
097	承久の乱	1221年に後鳥羽上皇が北条義時討伐を命じ、承久の乱が起こるが、義時は勝利し天皇と三人の上皇を処罰し歴史上最大の悪人とされた
098	文永の役	1274年の元・高麗軍による日本侵攻を文永の役とい、日本軍の組織的な抵抗の前に元・高麗軍は撤退した
099	弘安の役	1281年の元軍による日本侵攻を弘安の役という
100	山家集	旅の中で歌と仏道を究めた西行の歌は後世に大きな影響を残した
101	金槐和歌集	源実朝は歌人としても名高く、金槐和歌集を遺した
102	新古今和歌集	新古今和歌集は古今和歌集に始まる八代集の最後で、技巧的で余韻を残す歌風は後世に大きな影響を与える
103	方丈記	鴨長明の方丈記は枕草子、徒然草と並んで三大随筆の1つに数えられる
104	平家物語	源平の戦いを描いた軍記物の平家物語は作者不詳で、琵琶法師によって広められた
105	東方見聞録	イタリア人旅行家マルコ＝ポーロはフビライに仕え、「東方見聞録」で日本のことを黄金の国ジパングと紹介した
106	立正安国論	日蓮は幕府に立正安国論を幕府に提出し、外国の襲来を予言した
107	蒙古襲来絵詞	竹崎季長の「蒙古襲来絵詞」は元寇の戦いの様子を描いている
108	徒然草	吉田兼好の徒然草は枕草子、方丈記と並んで三大随筆の1つに数えられる
109	御成敗式目	1232年、執権北条泰時により御成敗式目（貞永式目）が制定され、武家社会における裁判や政治の基準とされた
110	永仁の徳政令	1297年に鎌倉幕府は元寇で借金を負った御家人を救うために、永仁の徳政令を発布した
111	土地を仲立ちとした主従関係	土地の支配権を仲立ちに「御恩」と「奉公」からなる主従関係を封建制度という

112	兄弟に分割して相続し、女性にも相続権があった	分割相続は所領の細分化を招いたため、長子への相続に移行していった
113	恩賞としての新たな土地が与えられなかったから	元寇は防衛戦で新たな土地が獲得できなかったため、御家人に十分な恩賞を与えられなかった
114	武士や僧による素朴で写実的な文化	鎌倉時代には武士や僧による素朴で力強く写実的な鎌倉文化が栄えた
115	1180年	1180年に以仁王の令旨が発せられたことで、源頼朝や木曾義仲が挙兵し、治承・寿永の乱が起こった
116	1183年	1183年、倶利伽羅峠（富山・石川県境）で圧勝した源義仲は京に入り、「朝日将軍」と呼ばれるようになる
117	1185年	1185年、壇ノ浦の戦いで源義経に敗れた平家一門は、安徳天皇とともに自害し滅亡するが、平氏の一族は北条氏のように生き残る
118	1185年	1185年に源頼朝が守護・地頭の任免権を受けたことにより、実質的な鎌倉政権が誕生したといえる
119	1189年	1189年、衣川で源義経を討った藤原泰衡は、その罪で源頼朝に討伐され奥州藤原氏は滅亡した
120	1192年	1192年、源頼朝は征夷大將軍に任ぜられ、名実ともに鎌倉幕府の成立となった
121	1221年	1221年に後鳥羽上皇が北条義時討伐を命じ、承久の乱が起こる
122	1232年	1232年、執権北条泰時により御成敗式目（貞永式目）が制定され、武家社会における裁判や政治の基準とされた
123	1274年	1274年の元・高麗軍による日本侵攻を文永の役という
124	1281年	1281年の元軍による日本侵攻を弘安の役という
125	1297年	1297年に鎌倉幕府は元寇で借金を負った御家人を救うために、永仁の徳政令を發布した
126	鎌倉時代	鎌倉時代の開始を1185年とするか1192年とするかは意見が分かれる
127	鎌倉文化	鎌倉時代には武士や僧による素朴で力強く写実的な鎌倉文化が栄えた

128	後鳥羽天皇	後鳥羽天皇は三種の神器がないままに即位したため、権威が保障されなかったのも承久の乱の一因とされる
129	守護	守護は国ごとに設置された軍事・警察担当の役職で、鎌倉～室町時代に設置された
130	地頭	地頭は荘園や公領に設置された土地の警備や徴税を担当する役職で、在地の御家人が任命された
131	封建制度	土地の支配権を仲立ちとした主従関係を封建制度という
132	一所懸命	将軍の御恩である所領のために命がけで奉公することを一所懸命という
133	北条義時	北条義時は仲恭天皇を退位させ、後鳥羽・順徳・土御門の3上皇を流刑に処し、史上最大の極悪人扱いされた
134	承久の乱	承久の乱の結果、朝廷側の土地が幕府に没収され、西日本まで幕府の支配権が及んだ
135	御成敗式目（貞永式目）	1232年、執権北条泰時により御成敗式目（貞永式目）が制定され、武家社会における裁判や政治の基準とされた
136	元寇	元による2回の日本侵攻（文永・弘安の役）を元寇という
137	兵庫県	1184年、西国で兵を集め福原まで進出した平家軍を源義経らが一ノ谷（兵庫県）で撃退し、平家は屋島に撤退した
138	香川県	瀬戸内海の水軍は平家軍の方が優勢であったが、屋島（香川県）を急襲した義経に敗北し、九州は範頼に押さえられ封じ込められた
139	山口県	山口県の関門海峡にある壇ノ浦で安徳天皇は三種の神器とともに入水し、天叢雲剣（草薙剣）は今も海中に眠る
140	神奈川県	神奈川県の鎌倉は三方を山に囲まれ南は海に面した防衛に適した地で、源頼朝が本拠地とした
141	島根県	島根県の隠岐諸島は古くから流刑地として多くの貴族が流された
142	京都府	平安京の北東、白河南を六波羅といい、平清盛の屋敷があった跡地に六波羅探題が置かれた
143	方丈記	鴨長明の方丈記は枕草子、徒然草と並んで三大随筆の1つに数えられる

144	平家物語	源平の戦いを描いた軍記物の平家物語は作者不詳で、琵琶法師によって広められた
145	徒然草	吉田兼好の徒然草は枕草子、方丈記と並んで三大随筆の1つに数えられる
146	蒙古襲来絵詞、竹崎季長	竹崎季長の「蒙古襲来絵詞」は元寇の戦いの様子を描いている
147	東大寺南大門	東大寺は平重衡による南都焼き討ちで焼け落ちたが、鎌倉時代に南大門とともに再建された
148	東大寺南大門金剛力士像、運慶・快慶	東大寺南大門には運慶・快慶による金剛力士像が置かれている
149	円覚寺舍利殿	北条時宗が中国から無学祖元を招いて建立した円覚寺は臨済宗の大本山で、舍利殿は国宝に指定されている
150	鎌倉	鎌倉にある高德院阿弥陀如来は座禅を組んだ大仏として知られる
151	ア→イ→エ→ウ	ア（1180年）→イ（1184年）→エ（1184年）→ウ（1185年）
152	ウ→イ→エ→ア	ウ（1185年）→イ（1185年）→エ（1189年）→ア（1192年）
153	エ→イ→ウ→ア	エ（1219年）→イ（1221年）→ウ（1221年）→ア（1232年）
154	ウ→ア→エ→イ	ウ（1232年）→ア（1274年）→エ（1281年）→イ（1297年）
155	ウ→ア→エ→イ	ウ（11世紀末）→ア（12世紀半ば）→エ（12世紀末）→イ（13世紀初め）
156	イ→ア→エ→ウ	イ（初代）→ア（2代）→エ（3代）→ウ（4代）
157	ア→ウ→イ→エ	ア（初代）→ウ（2代）→イ（3代）→エ（8代）
158	エ（牛馬耕）	千歯こき、備中ぐわ、唐箕は江戸時代に普及した技術
159	イ（草木灰）	干鰯、金肥、油かすは江戸時代に普及した農業技術